

F. 空と風と空気

この分野は、「まち」に関わる要素のうち、日々呼吸している空気の質、空気の流れである風、さらにまちの上に広がる空の環境を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

【車】

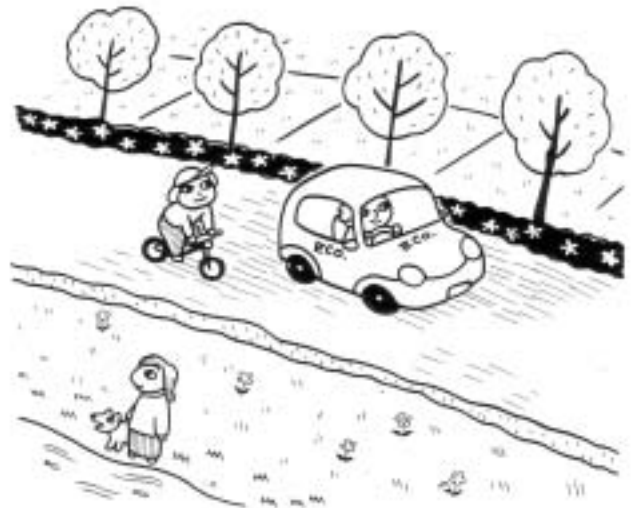
エコカーが当たり前になっている

【空気・風】

自然の営みから生まれる
すがすがしい空気があり
夕方の涼しい風が感じられる

【夜空】

夜空にはたくさんの星が見え、
親子で星座が探せるようになる



環境指標と数値目標

(詳細は資料編参照)

No.	指標名	現状値 [H.14]		短期目標 [H.20]	長期目標 [H.35]
F 1	大気汚染に係る環境基準適合率	100	%	100	100
F 2	市民調査による宅地地区の 二酸化窒素濃度平均値	0.03	ppm	向上	0.02
F 3	市所有自動車のエコカー普及率 (特殊な車両を除く)	6.5	%	向上	100
F 4	エコドライブ宣言者数	—	人	1,000	4,000

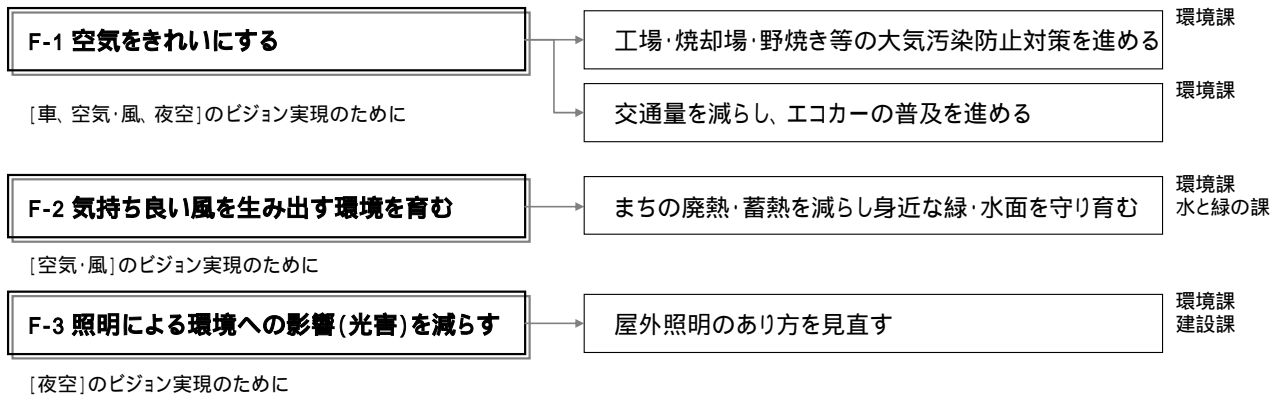
[検討・把握する環境指標] 市内エコカー普及率、主要道路の自動車交通量、自動車保有台数

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしていこう！



環境まちづくりプログラム

施策の体系



F-1 空気をきれいにする

空気をきれいにするために、大気汚染の原因である自動車排ガスや焼却場・野焼きなどの煙への対策を進めます。特に自動車排ガスは沿道の大気環境や地球温暖化へ影響を与えていることから、自動車交通量の削減とエコカー²⁵の普及を進めます。

[施策メニュー]

公害防止のための体制強化、事業者と地域との対話の推進、市民による環境監視モニター制度の導入
 地球温暖化への警鐘、エコカーの必要性のPR、市民向けエコカー購入補助、公用車のエコカー転換、天然ガス車の導入、エコエネルギーステーションの誘致、事業所におけるエコカー導入促進、ノーカーデーの試験的实施



市所有の電気自動車



市民による道路環境調査風景

²⁵ 窒素酸化物、粒子状物質、二酸化炭素といった大気汚染物質や地球温暖化物質の排出が少ない、または全く排出しない車。電気自動車、メタノール自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車など。

F-2 気持ち良い風を生み出す環境を育む

近年、まちなかの廃熱や蓄熱²⁶の増加、緑や水面の自然的な土地利用の減少などによるヒートアイランド現象²⁷が名古屋都市圏で報告されています。この現象が日進市で進展しないように、緑、田んぼ、ため池などの保全、廃熱や蓄熱への対策を進めていきます。

[施策メニュー]

ヒートアイランド現象の市民向けPR、まちなかの緑の創出、田んぼ・ため池・川などの水辺の保全、四季を感じられる緑化、コンクリート建物の緑化

F-3 照明による環境への影響（光害²⁸）を減らす

地上だけでなく夜空や周りを照らす光は、星空を消し、歩行者や車を運転する人の目に眩しさを与え、エネルギーを浪費し、動植物への悪影響も報告されています。こうした光害を減らすために、適正な照明の整備を進めていきます。

[施策メニュー]

サーチライトへの規制づくり、ライトアップ・街路灯などのガイドライン作成、親子の星空観察会の実施



市の東部に広がる田園風景

²⁶ 廃熱はエアコン室外機、各種燃焼機関からの熱、蓄熱は日中太陽の熱でアスファルトやコンクリートにたまった熱を指します。

²⁷ 都市域において、人工物の増加、地表面のコンクリートやアスファルトによる被覆の増加、それに伴う自然的な土地の被覆の減少、さらに冷暖房など人工廃熱の増加により、地表面の熱収支バランスが変化し、都心域の気温が郊外に比べて高くなる現象。

²⁸ 夜、必要以上の照明による害のこと。特に、天体観測の妨げや野鳥の生態に悪影響を与える光をいう。